

ありたい教職員像

- 生徒一人ひとりの発達段階に応じたきめ細かい支援や指導ができ、教育力向上のために自己研鑽を積む教職員
- 三重県唯一の水産高校としての役割を自覚し、更なる特色化に向け、相互支援を行う教職員集団
- 法令・法規・マナーを遵守し、信頼関係の構築を重視して教育活動に邁進する教職員集団

項目	本校の課題	目標	取組内容
教職員一人ひとりの規範意識の確立	○ 慣例的に業務を遂行していることがあり、環境変化への対応が遅れるおそれがある。 ○ 生徒の個人情報に適正に管理するため、高い危機管理意識を持続していく必要がある。 ○ 法令やルール、マナーの遵守に向け、自身の行動に細心の注意を払う必要がある。	○ 業務の目的、根拠等を再確認する等、自問自答する習慣を身につける。 ○ 生徒の個人情報にかかる危機管理意識を更に高める。 ○ 不祥事の未然防止に向け、事例研究や研修を通じて、教育活動、日常生活の自己点検を行う。	○ コンプライアンス研修を学期に1回実施し、不祥事根絶に取り組む。 ○ 情報管理の徹底に向け、職員室の整理整頓、データ管理、居室等の施錠を促進する。 ○ 体罰や暴言の未然防止に向け、研修等を実施する。
学校組織の服務規律を確保	○ 校内外で発生している「ヒヤリ・ハット」事例を、自分事として捉えていく必要がある。	○ 教職員が相互に助言しあえる組織づくりに努める。	○ 各職員が「ヒヤリ・ハット」事例を共有する。また、分掌等において、服務規律違反に繋がる行動がないか、定期的に検証するとともに、未然防止策等を検討する。
教職員間の関係づくりと働きやすい職場づくり	○ 県内唯一の水産高校であるため、人事異動が少なく、新たな発想・意見が生まれにくい職場環境となるおそれがある。 ○ 教職員間の業務分担が経験者に偏る傾向があり、業務が固定観念に捉われる懸念がある。	○ 教職員間の情報共有が円滑に図られる関係づくりに努める。 ○ 業務の見える化に取り組むとともに、業務の精選、負荷の分散等に努める。	○ 管理職の声掛けや相談体制を強化する。 ○ 教職員が心理的な余裕を持ち、働きやすい環境づくりに努める。 ○ 地域と連携し、様々な地域課題の解決に向けた取組を推進する。 ○ 教職員による改善提案を検証し、次年度の業務に反映する。